

◎ 指示があるまで開かないこと。

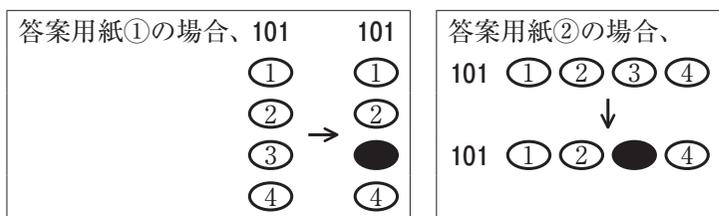
(令和7年2月22日 9時~11時10分)

## 注 意 事 項

1. 試験問題は **80 問**で、解答時間は正味2時間10分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
  - (1) 各問題には1から4までの四つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) **問題 101** 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の **③** をマークすればよい。

- (2) 答案の作成には **HB** の鉛筆を使用し、濃くマークすること。
 

良い解答の例…… ● (濃くマークする。)

悪い解答の例…… ⊖ ⊗ (解答したことになる。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「」のような消し方などをした場合は、修正したことになるから注意すること。
- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。



## 専門基礎科目

**問題 1** 我が国の2021年度の国民医療費で、構成割合が最も大きい年齢階級はどれか。

1. 0～14歳
2. 15～44歳
3. 45～64歳
4. 65歳以上

**問題 2** 我が国の医療保険で地域保険はどれか。

1. 国民健康保険
2. 健康保険組合
3. 協会けんぽ
4. 共済組合

**問題 3** 介護保険制度について正しいのはどれか。

1. 保険者は都道府県である。
2. 被保険者は40歳以上である。
3. 要介護認定は保健所に申請する。
4. 介護報酬は5年ごとに見直される。

**問題 4** ノーマライゼーションの理念を最もよく表している内容はどれか。

1. 安楽死
2. 臓器移植
3. バリアフリー
4. リハビリテーション

**問題 5** ウィンスローによる公衆衛生の定義に含まれるのはどれか。

1. 寿命の延長
2. 医療費の低減
3. プライマリ・ヘルス・ケア
4. インフォームド・コンセント

**問題 6** 労働安全衛生対策の3管理に含まれないのはどれか。

1. 作業管理
2. 人事管理
3. 健康管理
4. 作業環境管理

**問題 7** 消毒法において芽胞に有効でないのはどれか。

1. 次亜塩素酸ナトリウム
2. エチレンオキシド
3. ホルムアルデヒド
4. エタノール

**問題 8** 人為的な温室効果ガスで排出量が最も多いのはどれか。

1. メタン
2. 二酸化炭素
3. 一酸化窒素
4. フロンガス類

**問題 9** 学校における感染症の流行を防ぐため、感染した児童生徒の出席停止を行うことができるのはどれか。

1. 学校医
2. 校長
3. 養護教諭
4. 保健主事

**問題 10** 横断研究において算出できる疫学指標はどれか。

1. 有病率
2. 罹患率
3. 死亡率
4. 平均余命

**問題 11** あはき法で、あん摩マッサージ指圧師名簿の登録事項はどれか。

1. 養成施設の卒業年月
2. 住所地
3. 視覚障害の有無
4. 性別

**問題 12** あはき法で、あん摩マッサージ指圧師の制限行為はどれか。

1. 外科手術
2. 骨折患部への施術
3. 薬品の投与
4. 病名の診断

**問題 13** あはき法で、施術所開設の届出事項でないのはどれか。

1. 開設の年月日
2. 開設の場所
3. 施術所の写真
4. 業務の種類

**問題 14** 法律と規定されている事項の組合せで正しいのはどれか。

1. 介護保険法 ————— 特定健康診査の実施
2. 高齢者の医療の確保に関する法律 —— 要介護認定の区分
3. 健康増進法 ————— 受動喫煙の防止
4. 医療法 ————— 保健所の設置

**問題 15** 上腕骨の部位とそこに停止する筋の組合せで正しいのはどれか。

1. 大結節 —— 肩甲下筋
2. 小結節 —— 棘下筋
3. 大結節稜 —— 広背筋
4. 小結節稜 —— 大円筋

**問題 16** 椎骨横突起に起始するのはどれか。

1. 広背筋
2. 僧帽筋
3. 肩甲挙筋
4. 大菱形筋

**問題 17** 胸管について正しいのはどれか。

1. 腸リンパ本幹に始まる。
2. 前縦隔を走行する。
3. 大静脈孔を通る。
4. 左静脈角に注ぐ。

**問題 18** 咽頭について正しいのはどれか。

1. 耳管が開口する。
2. 咀嚼に関与する。
3. 第4頸椎の高さで食道に移行する。
4. 咽頭筋群は舌下神経に支配される。

**問題 19** 深腓骨神経に支配されるのはどれか。

1. 前脛骨筋
2. 後脛骨筋
3. 長腓骨筋
4. 長母趾屈筋

**問題 20** 内側膝状体で中継されるのはどれか。

1. 嗅覚
2. 視覚
3. 聴覚
4. 温度覚

**問題 21** 頸神経について正しいのはどれか。

1. 頸神経ワナから皮枝が出る。
2. 頸神経の後枝から横隔神経が起始する。
3. 大後頭神経は後頭部の皮膚に分布する。
4. 第1～第8頸神経の前枝は頸神経叢を形成する。

**問題 22** 嗅覚を伝える経路について正しいのはどれか。

1. 嗅上皮は上鼻道にある。
2. 嗅神経は篩骨篩板を通る。
3. 嗅神経が集まって嗅索になる。
4. 嗅球は視床下部下面に位置する。

**問題 23** 細胞膜について正しいのはどれか。

1. リボ核酸が規則正しく配列する。
2. 蛋白質が組み込まれている。
3. 脂質に溶ける物質は通過できない。
4. 赤血球は細胞膜をもたない。

**問題 24** 血圧を上昇させる要因はどれか。

1. 塩分摂取の低下
2. 外傷による大出血
3. 細動脈の拡張
4. 血管壁の弾性低下

**問題 25** 唾液について正しいのはどれか。

1. 蛋白質を分解する。
2. ムチンを含む。
3. pH は 1～2 である。
4. 副交感神経は分泌を低下させる。

**問題 26** 排尿について正しいのはどれか。

1. 副交感神経が活動する。
2. 尿道括約筋が収縮する。
3. 随意的な制御を受けない。
4. 排尿中枢は胸髄に存在する。

**問題 27** 血中カルシウム濃度を調節するホルモンはどれか。

1. インスリン
2. バソプレシン
3. ソマトスタチン
4. パラソルモン

**問題 28** 生理的老化により増加するのはどれか。

1. 残気量
2. 基礎代謝量
3. 腎血流量
4. 末梢神経伝導速度

**問題 29** 精神活動中に現れる脳波はどれか。

1.  $\alpha$  波
2.  $\beta$  波
3.  $\theta$  波
4.  $\delta$  波

**問題 30** 味覚について正しいのはどれか。

1. 味蕾で感受される。
2. 求心性線維は舌下神経である。
3. 大脳皮質の体性感覚野へ送られる。
4. 辛味は5つの基本味の一つである。

**問題 31** 赤痢菌が最も病巣を作りやすい臓器はどれか。

1. 肺
2. 大腸
3. 肝臓
4. 膀胱

**問題 32** 水俣病の原因物質はどれか。

1. 鉛
2. ヒ素
3. 有機水銀
4. カドミウム

**問題 33** 疾患と壊死の種類のもうあわせで最も適切なのはどれか。

1. 肺結核 ——— 融解壊死
2. 脳梗塞 ——— 凝固壊死
3. 心筋梗塞 ——— 乾酪壊死
4. 急性膵炎 ——— 脂肪壊死

**問題 34** 急性炎症の主演となる細胞はどれか。

1. 好中球
2. 好酸球
3. リンパ球
4. マクロファージ

**問題 35** III型アレルギーが関与する疾患はどれか。

1. 花粉症
2. 全身性エリテマトーデス
3. バセドウ病
4. グッドパスチャー症候群

**問題 36** 良性腫瘍の特徴として正しいのはどれか。

1. 異型度が高い。
2. 出血壊死を伴う。
3. 発育が緩徐である。
4. 再発を起ししやすい。

**問題 37** 下位運動ニューロン障害による筋萎縮が起こるのはどれか。

1. 小脳梗塞
2. 急性灰白髄炎
3. 進行性筋ジストロフィー
4. 視床出血

**問題 38** 疾患の存在を示唆する呼吸の異常で最も適切なのはどれか。

1. 頻呼吸
2. 徐呼吸
3. 息切れ
4. 起坐呼吸

**問題 39** 熱型と疾患の組合せで最も適切なのはどれか。

1. 弛張熱 —— 肝膿瘍
2. 稽留熱 —— ホジキンリンパ腫
3. 間欠熱 —— 大葉性肺炎
4. 周期熱 —— 腸チフス

**問題 40** 右季肋部痛を伴う疾患で最も適切なのはどれか。

1. 胃潰瘍
2. 子宮外妊娠(異所性妊娠)
3. 化膿性胆嚢炎
4. 大動脈瘤破裂

**問題 41** 黒褐色便を伴う疾患で最も適切なのはどれか。

1. 潰瘍性大腸炎
2. メッケル憩室
3. 胃潰瘍
4. 胆管癌

**問題 42** 心音が増強するのはどれか。

1. 肺気腫
2. 心筋梗塞
3. 心嚢液貯留
4. バセドウ病

**問題 43** 腹部の触診所見と病態の組合せで正しいのはどれか。

1. 波動 ————— 腹水
2. 反跳痛 ————— 肝硬変
3. 筋性防御 ————— 腎嚢胞
4. ランツ点の圧痛 ——— 十二指腸潰瘍

**問題 44** 膝蓋腱反射の反射中枢はどれか。

1. C6 - Th1
2. Th8 - Th10
3. L2 - L4
4. S1 - S2

**問題 45** 血液生化学検査の結果で異常値はどれか。

1. 血糖 40 mg/dL
2. 総コレステロール 180 mg/dL
3. 中性脂肪 100 mg/dL
4. 尿酸 5 mg/dL

**問題 46** 一次救命処置はどれか。

1. 酸素吸入
2. 胸骨圧迫
3. 人工呼吸器装着
4. 静脈路確保

**問題 47** 手足口病の原因はどれか。

1. コクサッキーウイルス
2. 単純ヘルペスウイルス
3. アデノウイルス
4. ノロウイルス

**問題 48** アレルギー性鼻炎について正しいのはどれか。

1. 鼻粘膜のⅡ型アレルギー性疾患である。
2. 季節性アレルギー性鼻炎の原因で最も多いのはハウスダストである。
3. IgE抗体が関与している。
4. アレルゲン免疫療法は即効性がある。

**問題 49** うつ病の症状として最も適切なのはどれか。

1. 幻聴
2. 感情失禁
3. 予期不安
4. 興味の喪失

**問題 50** 肘内障について正しいのはどれか。

1. 肘関節外側部に腫脹を認める。
2. 肘関節の外反動揺性を認める。
3. 腕橈関節の後方脱臼である。
4. 単純エックス線像では異常を認めない。

**問題 51** 気管支拡張症の原因として関連が少ないのはどれか。

1. 免疫不全
2. 小児期の肺炎
3. 喫煙の習慣
4. 慢性副鼻腔炎

**問題 52** 特発性間質性肺炎について正しいのはどれか。

1. 予後は比較的良好である。
2. 労作時の呼吸困難が特徴である。
3. 閉塞性換気障害をきたす。
4. 抗菌薬の長期投与を行う。

**問題 53** 喫煙肺癌患者に最も多い組織型はどれか。

1. 腺 癌
2. 大細胞癌
3. 小細胞癌
4. 扁平上皮癌

**問題 54** 感染性心内膜炎について正しいのはどれか。

1. 歯周病は発症リスクになる。
2. 診断には運動負荷試験が有用である。
3. 病初期に発熱がみられることはまれである。
4. 脳梗塞を併発するリスクは小さい。

**問題 55** 大腸癌の危険因子でないのはどれか。

1. 食物繊維摂取
2. 大腸腺腫
3. 潰瘍性大腸炎
4. 胆嚢切除

**問題 56** 肝炎ウイルスと感染経路の組合せで正しいのはどれか。

1. A 型 —— 針刺し事故
2. B 型 —— 性行為
3. C 型 —— 獣肉の生食
4. E 型 —— 海産物の生食

**問題 57** 尿路結石の成分でないのはどれか。

1. コレステロール
2. シュウ酸カルシウム
3. 尿 酸
4. リン酸カルシウム

**問題 58** 低血糖症状はどれか。

1. 多 飲
2. 徐 脈
3. 発 汗
4. 頻 尿

**問題 59** 甲状腺機能低下症の症状はどれか。

1. 頻 脈
2. 手指振戦
3. 動作緩慢
4. 色素沈着

**問題 60** 急性膀胱炎の病原体として頻度が最も高いのはどれか。

1. カンジダ属
2. 大腸菌
3. 黄色ブドウ球菌
4. 単純ヘルペスウイルス

**問題 61** 血友病について正しいのはどれか。

1. 関節内血腫を起こす。
2. 血小板の減少によって起こる。
3. 自己免疫疾患である。
4. 女兒に多くみられる。

**問題 62** パーキンソン病の症状はどれか。

1. 体幹失調
2. 前屈姿勢
3. 動揺性歩行
4. アテトーゼ

**問題 63** 医学的リハビリテーションを担う職種と業務内容の組合せで最も適切なのはどれか。

1. 理学療法士 —— 自助具作製
2. 作業療法士 —— 車椅子作製
3. 言語聴覚士 —— 摂食嚥下訓練
4. 義肢装具士 —— 装具処方

**問題 64** 異常歩行と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. トレンデレンブルグ歩行 —— 変形性股関節症
2. 分回し歩行 —— 脊髄小脳変性症
3. はさみ脚歩行 —— 大腿骨頭壊死症
4. 小刻み歩行 —— 進行性筋ジストロフィー

**問題 65** 下肢切断と起こりやすい関節拘縮の組合せで誤っているのはどれか。

1. 大腿切断 —— 股関節屈曲拘縮
2. 下腿切断 —— 膝関節伸展拘縮
3. サイム切断 —— 膝関節屈曲拘縮
4. リスフラン関節離断 —— 足関節屈曲拘縮

**問題 66** 関節リウマチによる変形で最も適切なのはどれか。

1. マレット変形
2. スワンネック変形
3. 反張膝
4. 肩関節脱臼

**問題 67** 一生続く姿勢反射はどれか。

1. パラシュート反射
2. モロー反射
3. ガラント反射
4. ランドウ反射

**問題 68** 痙縮による内反尖足変形をきたす疾患はどれか。

1. 脳梗塞
2. 関節リウマチ
3. 総腓骨神経麻痺
4. ギラン・バレー症候群

**問題 69** 口すぼめ呼吸で正しいのはどれか。

1. 気道の虚脱を抑える。
2. 気道内圧を低下させる。
3. 呼気時間を短縮させる。
4. 一回換気量を減少させる。

**問題 70** 脊髄損傷レベルと機能が残存する筋の組合せで正しいのはどれか。

1. C4 —— 肘伸展筋
2. C6 —— 指屈曲筋
3. L3 —— 足背屈筋
4. S1 —— 足底屈筋

**問題 71** 呼吸に関わる筋はどれか。

1. 僧帽筋
2. 胸鎖乳突筋
3. 腹直筋
4. 脊柱起立筋

**問題 72** FIM の運動項目でセルフケアに該当するのはどれか。

1. 歩 行
2. 更 衣
3. 排尿管理
4. 書 字

**問題 73** 認知症の中核症状はどれか。

1. 徘徊
2. 妄想
3. 不潔行為
4. 記憶障害

**問題 74** パーキンソン病で生じる歩行障害はどれか。

1. 鶏 歩
2. 間欠跛行
3. すくみ足
4. らくだ歩行

次の症例について、問題 75、76 の問いに答えよ。

「24 歳の女性。事務職。最近パソコンでキーボード入力やマウスのクリック動作が多くなり、右手示指と中指の先がしびれるようになった。右手関節橈背側の腫脹や圧痛はない。」

**問題 75** 身体所見で正しいのはどれか。

1. 下垂手
2. 小指外転筋力低下
3. ファレンテスト陽性
4. アイヒホッフテスト陽性

**問題 76** 確定診断に用いる検査はどれか。

1. CT 検査
2. MRI 検査
3. 超音波検査
4. 末梢神経伝導速度検査

次の症例について、問題 77、78 の問いに答えよ。

「78 歳の男性。右利き。右片麻痺を生じ救急搬送。左中大脳動脈領域の脳梗塞と診断され保存加療を受けた。発話は流暢だが、内容が意味をなさなかった。」

**問題 77** 本症例でみられる失語はどれか。

1. 全失語
2. 運動性失語
3. 感覚性失語
4. 伝導失語

**問題 78** 早期運動療法を開始するにあたり、アンダーソン・土肥の基準に従って訓練を行わない方がよいのはどれか。

1. 収縮期血圧 180 mmHg
2. 拡張期血圧 110 mmHg
3. 脈拍数 130 回/分
4. 呼吸数 12 回/分

次の症例について、問題 79、80 の問いに答えよ。

「80 歳の男性。毎日 40 本の喫煙を 60 年続けている。咳、痰、労作時の息切れを訴えている。胸部エックス線検査では胸水や腫瘍陰影は認めない。」

**問題 79** 次に行うべき検査はどれか。

1. MRI 検査
2. 呼吸機能検査
3. 換気血流シンチグラフィ検査
4. 呼吸器内視鏡検査

**問題 80** 感冒に罹患後、熱はないが呼吸困難が悪化した。また、経皮酸素飽和度の低下を認めた。最も有効な対応はどれか。

1. 経過観察する。
2. 消炎鎮痛薬を投与する。
3. 副腎皮質ステロイド薬を投与する。
4. 気管挿管を行う。





